




第41号
平成29年1月15日
市川浦安地区保護司会
広報部会

事務局
社会福祉法人
市川市社会福祉協議会内
市川市東大和田1-2-10
☎047-320-4002

第60回 千葉県更生保護大会



平成28年11月17日:香取市佐原文化会館



浦安市長 松崎 秀樹

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。保護司会をはじめ、関係機関・関係団体の皆様の更生保護に関するご尽力、ご協力に対し、心より感謝を申し上げます。

昨今、高齢者による自動車事故、覚醒剤や大麻、危険ドラッグなど薬物関係、DV、ストーカーや虐待など、女性や子どもに対する犯罪が多く報道されています。そして他人を巻き込み、さらに命を奪う大変痛ましい事件・事故も、立て続けに発生しています。

また、2016年版の「犯罪白書」によると、再犯率は48%となっており、再犯者の比率が増加傾向にあります。中でも覚醒剤取締法違反の検挙人員は全国で毎年1万人超が続いており、大麻や危険ドラッグの検挙人員も増え続けています。薬物犯罪の再犯性はひとときわ高く、対象者の特性に応じたきめ細やかな指導や支援が必要になっています。加えて、主に薬物犯罪を対象にした「一部執行猶予制度」が昨年6月に導入されるなど、更生保護に携わる保護司の業務も大きく変化しています。

このような中、処遇困難な事案が増加しつつも、罪を犯した人々の社会復帰を促し、明るい社会を築く地道な努力を続けている皆様の熱意努力に深く敬意を表します。

本市では、浦安警察署や浦安市防犯協会との連携を図りながら、地域の防犯予防に努めているところですが、犯罪や非行をした人たちの生活基盤の確保が困難であることに加え、地域社会の連帯機能の低下等によって、社会復帰に向けた自力での立ち直りは困難な状況であると思われれます。

こうした中、安全で安心して暮らせる地域社会を実現するためには、罪を犯した人たちの社会復帰を支援し、地域社会の理解と協力、関係機関等との連携が欠かせません。地域に根ざした幅広い活動を展開されている保護司の皆様方には多くのご苦勞があると思われれますが、更生保護は地域の事情に詳しい皆様のお力が不可欠と思っております。引き続き、安全・安心の地域社会づくりにご支援とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

結びに、市川浦安地区保護司会のご発展と、皆様のご活躍をお祈りいたします。新年のごあいさつとさせていただきます。

表彰

平成28年11月17日に香取市で開催されました、第60回千葉県更生保護大会において、次の方々が、永年の功績により顕彰されました。おめでとうございます。(敬称略)

法務大臣表彰

木内 修二 (南ブロック)

奥山 實 (西ブロック)

全国保護司連盟理事長表彰

湯浅 精一 (東ブロック)

加藤栄三郎 (南ブロック)

岩田 文親 (北ブロック)

松藤 恒夫 (北ブロック)

醍醐 誠一 (浦安ブロック)

千葉県保護司会連合会会長表彰

関東地方更生保護委員会委員長表彰

石川 文英 (南ブロック)

古川 英治 (東ブロック)

徳永 宏明 (北ブロック)

堤 修 (東ブロック)

永田 久子 (浦安ブロック)

鈴木 茂年 (北ブロック)

関東地方保護司連盟会長表彰

戸嶋 智員 (東ブロック)

吉野 輝信 (浦安ブロック)

時田 正一 (東ブロック)

宮井 洵 (南ブロック)

青木 康雄 (北ブロック)

馬場 九重 (浦安ブロック)

表彰に思うこと

木内 修二 (南ブロック)

例年になく天候不順な秋の日、観察所からの手紙。

「エッもう20年」、初めての担



式典の様子

当を今も鮮明に覚えています。

「約束を守り正直に生きるこ
とが1番なんだ」と話す私。

担当終了後、突然奥さんと
生まれたばかりの子どもを抱
いて訪ねて来たときは、少し
は伝わったのかなと思う反面、
何も出来なかったと思うこと
も……。

20年続けてこられたことを先
輩保護司の方々、社協の皆様、
そして何より担当主任官の方々
との連携に深く感謝いたしま
す。

薬物乱用防止指導員講習会に参加して

加藤 栄三郎 (南ブロック)

平成28年11月8日、千葉県文化会館で開催された「薬物乱用防止指導員講習会」に参加しました。

この講習会は、千葉県と千葉県薬物乱用対策推進本部により開催されました。

当日、当地区より東ブロックの中嶋貞行氏、石井孝幸氏のお二人が功労者として表彰されました。式典後の講習会では夏に開催された「中堅指導員研修会」の受講内容の伝達があり、続いて千葉県保護観察所松本保護観察官による「薬物依存症者への対応」についての講演がありました。

薬物事犯者が近年増加傾向にあり、また、この事案の再犯率が高いことが、最近の新聞、テレビ等で頻繁に報道されております。親が大切に育ててくれた自分を壊さない為に「薬物は乱用はしない」と強い意志を持つているように自己肯定感を育むことが重要と痛感致しました。

「薬物乱用」は、脳に悪影響を与え、精神障害等も引き起こし、「薬物」への依存症を治すことは非常に難しくなります。自分をダメにしてしまうだけでなく、家族、友人など周囲の人々も巻き込んでしまい、社会的にも迷惑をかけるてしまいます。これらを防止する為に、周りの人達の見守り、応援、指導が大切です。

我々の活動が少しでも減少し、本当に「明るい社会」が実現されることを切に望むものです。

更生保護施設

「少年の家」を訪ねて

藤澤 ちよ子 (西ブロック)

静岡市内の静かな住宅地に有るその建物に入ると、何かほっこりした空気を感じた。

11月の冷たい雨の日、研修で訪ねた少年の家は、社会復帰を目指す少年たちを迎えるに十分な雰囲気があった。館内の壁は静岡県産の杉板がふんだんに張られ、ホール天井の天窓からは雨天にも拘らず光が入り、全体が優しく呼吸している。2年前に老朽化の為、補助金や寄付金を基に全面建直しされ、個室基本の恵まれた環境だ。定員21人だが現在空室有り。

話し上手な施設長によれば、「隠された更生保護」から「開かれた更生保護」へをテーマに創られ、多目的ホールは地域住民との交流の場として提供。運営は大変だが、地域住民の助けで成り立ち、大いに感謝しているとの事だ。しかし施設から巣立つ為の安定した仕事確保は、県内就労先が少なく、低賃金の為、容易ではない。「騙されたと思ってやってみろ」のアドバイスにも乗ってこない少年達には切ないと話すが、無事に巣立って行く者には心からエールを送り、「戻ってくるなよ」と呟いてしまうという談には、施設長の責務の重さをつくづく感じた研修だった。



平成28年11月24日 少年の家



故 當麻前会長を偲んで

孔子は、川の上に立ち、「逝く者は斯くの如くか、昼夜を舍かず」と言われたと言う。人生の無常とはこのようなことを言うのでしよう。

9月15日夜、前会長當麻さんが逝去されたと社協の事務局から連絡があった時は、暫く茫然としました。當麻さんは、市川浦安地区保護司会会長を平成19年5月から22年11月まで務められ、数々の業績を残されました。中でも特筆すべきは、平成20年に第52回千葉県更生保護大会が、市川市文化会館で開催され、それを、立派に為し遂げられたことです。

当時は、駐車場のないことが問題でしたが、国交省に折衝を重ね外環道の空地を使えるようにされたことは、當麻さんの面目躍如たる所でした。ご自身が、外環道に地所を提供協力していたからこそ特別の配慮があったように伺っています。

温かく、豊かな包容力があり、頼りがいのある御人柄でした。よく行徳に來られお酒を一緒に飲むことがありましたが、話が保護司活動に及ぶと、その理路整然とした、情熱溢れる御意見に只うなずくばかりでした。あらためて當麻前会長の御功績に対し、深甚なる敬意と感謝の意を表しますと共に、ここからご冥福をお祈り申し上げます。

会長 那須 隆吉

保護司会と共に50年の歩み

市川地区更生保護女性会
会長 五十嵐 光子

市川地区更生保護女性会は、今年「設立50周年」を迎えました。私共の支えであります市川浦安地区保護司会は、設立60年との事で、心より敬意を表します。昭和41年3月、初代天野志津会長より、私で6代目となり、私自身も会員として50年となりました。清水なかさんと2人、細く長くではありますが、継続してこられた事に深く感謝しております。

婦人会より女性会と名称を変更し、母親としての立場から、おばあちゃんとしての立場で平和な生活が出来る様に、地域から犯罪者や非行少年を出さないと同時に、犯罪や非行に陥った人達が、2度と過ちを繰り返さない様、その立ち直りを支え、心豊かに生きられる明るい社会づくりのお手伝いをして参りました。

去る10月18日には、記念式典を開催し、この一区切りとしての活動を振り返りました。

少子高齢化の社会で、私共が、少しでも社会の為に役立てる様、保護司会、社会福祉協議会、BBSの会の皆様と共に、手を取り連帯し、安全で安心な市川の街づくりに協力して参ります。



設立50周年記念式典

新任保護司 (敬称略)



日高 孝史 (南ブロック)
平成28年11月1日委嘱



三輪 哲郎 (南ブロック)
平成28年11月1日委嘱

よろしくお願いいたします。

退任保護司 (敬称略)

中川 明子 (西ブロック)

昭和59年12月1日委嘱

平成28年11月30日退任

三橋 勇 (西ブロック)

平成14年12月1日委嘱

平成28年11月30日退任

長い間ありがとうございました。

退任にあたって

中川 明子 (西ブロック)

昭和59年12月に保護司の委嘱を受けました。保護観察所、諸先輩の皆様のご指導を頂き、社協や同僚の方々に支えられて続けることができました。本当にありがとうございました。何故犯罪をしてしまったのかをふりかえり、見極めていけるように、相手の話をよく聴き、相手の気持ちにより添っていく事を心がけました。

また、何事も「楽しんでやることだ」という當麻前会長の言葉を忘れずやってきました。今後も皆様のご健勝とご活躍を祈念します。

市民まつり



犯罪や非行のない社会を目指して、ポケットティッシュの配布等、関係諸団体とともにキャンペーンを行いました。クイズやゲームも実施し、保護司について周知することができました。



平成28年11月3日
大洲防災公園



平成28年10月23日
浦安市役所前

平成28年度関東地方保護司代表者協議会が、10月12、13日にブリランテ武蔵野において開催され、当地区からは那須会長が出席しました。

今後の行事予定 (平成29年)

1月17日 (火) 一日駐在

(浦安市総合福祉センター)

1月20日 (金) 一日駐在 (市川市文化会館)

1月24日 (火) 新年懇親会

(市川グランドホテル)

2月8日 (水) 理事会 (市川市文化会館)

2月9日 (木) 10日 (金)

一泊施設見学研修会 (小田原少年院)

2月17日 (金) 一日駐在 (市川市文化会館)

3月7日 (火) 第四期地域別定期研修会

(市川市文化会館)

3月14日 (火) 一日駐在

(浦安市総合福祉センター)

3月17日 (金) 一日駐在 (市川市文化会館)

編集後記

ひだまりのお母さん、中川明子さんが退任されました。この41号が最後の編集でした。実に35号の編集に携わってくれました。本当に長い間ご苦勞様でした。

これからも教えを基に、もっともっと暖かな「ひだまり」が出来るよう頑張ります。

広報部会

部会長 中嶋 貞行 副部会長 中溝 敬子

中村 龍民 今西 美和子